



## 2027年度 入学者選抜要項

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| はじめに                    | P.1 |
| 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) | P.2 |

### 入学者選抜概要 P.3

|               |     |
|---------------|-----|
| 薬学研究科<br>博士課程 | P.3 |
|---------------|-----|

### 出願手続 P.5

|            |      |
|------------|------|
| 出願から入学手続まで | P.5  |
| 出願に必要な書類   | P.6  |
| 出願手続       | P.7  |
| 受験料支払い     | P.10 |
| 出願書類提出方法   | P.10 |
| 受験上の注意     | P.11 |

### 合格発表・入学手続 P.12

|      |      |
|------|------|
| 合格発表 | P.12 |
| 入学手続 | P.13 |
| 納付金  | P.13 |

### 試験場の案内 P.15

|        |      |
|--------|------|
| 試験場案内図 | P.15 |
|--------|------|

### 研究指導内容 P.16

|             |      |
|-------------|------|
| 授業科目の概要     | P.16 |
| 教育研究および担当教員 | P.19 |

### Q&A P.22

|     |      |
|-----|------|
| Q&A | P.22 |
|-----|------|

大 学 院

■薬学研究科

薬学専攻(博士課程)

# ■はじめに

## ●受験生の皆様へ

この入学者選抜要項には、出願手続から入学手続完了までのすべてが記載されています。まず一通り熟読し、そのうえで必要なページを読み返し、誤りのないよう出願を行ってください。

また、**出願後、本人の入力ミス等による出願内容の変更は、いかなる場合もできませんので注意してください。**

## ●担当希望教員との事前面談について

本学の研究指導内容（P.19～P.21『教育研究および担当教員』）を確認のうえ、出願希望の方は、出願前に必ず入試課へご連絡ください。その後、担当希望教員と面談のうえ、研究内容の方向性を確認します。

## ●受験上の合理的配慮について

本学では、障がいのある受験生が、他の受験生と同様に能力を発揮できるよう、受験上の合理的配慮に関する申請を受け付けています。出願に先立ち、必ず入試課へご相談ください。

なお、以下のような配慮については、個別の状況に応じて検討いたします。

- ・別室での受験
- ・座席の配慮
- ・補助具（ルーペ、補聴器等）の使用許可
- ・試験監督者による口頭説明の補足（聴覚・視覚障害に応じて）

受験上の配慮を希望される場合は、診断書（原本）や配慮希望内容を記載した書面（メモ書き等）をご用意のうえ、出願開始の2週間前までに入試課へお問い合わせください。

## ●留学生の皆様へ

本学の授業等は原則として日本語で行われるため、「日本語教育の参照枠」におけるB2相当以上（日本語能力試験〈JLPT〉N2総合得点112点以上、またはN1総合得点100点以上）の日本語能力が必要です。

出願にあたっては、上記の日本語能力を証明する書類の提出が必要です。詳細はP.6をご確認ください。

**お問い合わせ先** 帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRiセントラル 入試課 TEL：03-5843-3200

### 「個人情報の取り扱いについて」

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。

この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者（以下、「受託業者」という）にて行います。業務委託にあたり、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

### 「安全保障輸出管理について」

帝京平成大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「帝京平成大学安全保障輸出管理規程」を定め、安全保障輸出管理を実施しています。そのため、入学時及び入学後の教育・研究活動等に際して、必要に応じて確認を行う場合があります。なお、外国籍の方または在留資格が「留学」である方については、安全保障輸出管理上の確認のため、所定の誓約書を提出していただきます。確認及び誓約書の内容等に基づき、法令等の規制に該当すると判断された場合は、希望する研究活動や教育内容の一部に制限が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

# 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

## 【薬学研究科】

### 薬学専攻（博士課程）

薬学研究科 薬学専攻は、その教育・研究目的を達成するために、本学の建学の精神、「実学の精神」に則り、「医療実践、革新的創薬、医薬評価・規制」の分野における教育・研究を実施するため、以下の入学者を求める。

- ①薬学の専門知識を基に医療に貢献する意欲を有している。
- ②医療における課題に関心を持ち、自らの研究を通じて課題解決を図る意欲と能力を有している。
- ③他者と協力・連携しながら教育・研究に取り組む行動力と、高い倫理観を有している。

### 課程修了の認定 および学位

| 課程 | 在学期間                | 修得単位および条件                         | 学位     |
|----|---------------------|-----------------------------------|--------|
| 博士 | 博士課程 4 年以上<br>8 年以下 | ・ 30 単位以上<br>・ 学位論文の審査および試験に合格した者 | 博士(薬学) |

※社会人入学者で、長期履修学生制度を希望の場合はP.13を参照

# 薬学研究科 入学者選抜概要

## 博士課程 薬学専攻

修学キャンパス 中野

### 1. 募集人員（社会人枠含む）

薬学専攻 5名

### 2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 6年制の薬学部を卒業し、学士の学位を有する者（2027年3月までに卒業見込みの者を含む）。
- (2) 修士の学位や専門職学位を有する者（2027年3月までに取得見込みの者を含む）。
- (3) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位・専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学院相当として指定された外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (7) 外国の学校、(5)に規定する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者または2027年3月までに授与される見込みの者。
- (8) 文部科学大臣の指定した者で、本大学院において個別の入学資格審査により修士の学位を有する者あるいは6年制の薬学部と同等以上の学力があると認めた者。
- (9) 大学を卒業し、本大学院において個別の入学資格審査により修士の学位を有する者あるいは6年制の薬学部と同等以上の学力があると認めた者。
- (10) 本研究科の入学者選抜における社会人枠は、上記(1)～(9)のいずれかに該当し、大学を卒業し、25歳以上で、病院、調剤薬局、薬系の企業などにおける有職経験が概ね3年以上有る者（過去の有職経験を含む）で入学後も所属長等の許可を得て引き続き在職出来る者をいう。

### その他の注意事項

- ※注1 本薬学研究科における教育研究および担当教員（P.19～P.21）を参照し、受験申し込み前に、希望する教員に連絡、研究指導に関する了解を得ること。
- ※注2 本薬学研究科における教育研究および担当教員（P.19～P.21）を参照し、医療実践履修コースを希望する場合は、薬剤師免許を取得している者（2027年3月までに取得見込みの者を含む）が対象となります。
- ※注3 本薬学研究科における教育研究および担当教員（P.19～P.21）を参照し、創薬・橋渡し履修コース、医薬評価・規制履修コースを希望する場合であっても、研究指導内容によっては薬剤師免許を取得している者（2027年3月までに取得見込みの者を含む）が対象となります。
- ※注4 出願資格(8)または(9)により受験を希望する者は、出願資格の確認を行いますので、出願に先立ち、出願開始日の2週間前までに入試課へご連絡ください。

## 3. 試験日・試験場

| 試験区分 | 出願期間(出願期間内必着)            | 試験日       | 合格発表日     | 入学手続締切日   | 試験場                              |
|------|--------------------------|-----------|-----------|-----------|----------------------------------|
| I 期  | 2026年 9月10日(木)～10月 2日(金) | 10月25日(日) | 10月30日(金) | 11月13日(金) | 帝京平成大学<br>池袋キャンパス<br>MiNoRiセントラル |
| II 期 | 2027年 2月 1日(月)～ 2月25日(木) | 3月14日(日)  | 3月16日(火)  | 3月23日(火)  |                                  |

※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

## 4. 選考方法 筆記試験・面接・書類審査などで総合的に判定します。

## (1) 筆記試験

- ①英語：辞書は大学より貸与
- ②小論文：3 題のうち 1 題選択
- ③専門科目：(生物系薬学、薬物治療学、社会薬学、化学系薬学) 計 8 題から 2 題選択

## (2) 面接

希望する分野の研究計画等について行います。

## 5. 時間割 9:00までに試験場に集合してください。

面接の終了時間は順番によって異なります。

| 受験上の注意    | 英語・小論文・専門科目 | 昼食          | 面接     |
|-----------|-------------|-------------|--------|
| 9:15～9:30 | 9:30～12:30  | 12:30～13:30 | 13:40～ |

※最終入室時間は試験開始20分後まで(9:50)となります。

※各自で昼食を用意してください。学生食堂は営業していません。

# 出願から入学手続まで

## 大学院担当教員 への連絡

- 教育研究および担当教員(P.19～P.21)のページを参照し、本学の研究指導内容を確認してください。
- 出願する前に担当希望教員とご相談ください。なお、担当希望教員の連絡先は入試課(TEL.03-5843-3200)にお問い合せください。

1

### 事前準備

(P.5～7参照)

- 担当希望教員との事前面談(必須)
- 出願に必要な書類の準備
- メールアドレスの準備
- 顔写真データの準備

2

### インターネット出願登録

(P.7～9参照)

- 個人情報・顔写真データ・出願情報の登録
- インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順

3

### 受験料支払い

(P.9～10参照)

- インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順
- 受験料
- 受験料支払い方法

4

### 出願書類提出方法

(P.10参照)

- 郵送による提出
- 直接来学による提出

5

### 受験票の確認

(P.10参照)

- 受験票の印刷

6

### 受験上の注意

(P.11参照)

- 試験場
- 集合時間
- 持参品
- 服装
- 試験中の注意

7

### 合格発表

(P.12参照)

- インターネットによる合否照会

8

### 入学手続

(P.13参照)

- 入学手続方法
- 納付金
- 長期履修学生制度
- 入学許可の取消しについて
- 入学辞退手続

## 出願に必要な書類

- ・「本学HPより取得が必要」部分に○のある書類は、必要に応じて本学ホームページより取得してください。
- ・提出漏れ防止のため、「チェックリスト」欄を活用しながら書類を準備してください。
- ・間違いや不備のないよう、よく読み、提出する前に再度確認してください。
- ・提出書類をまとめる必要がある場合は、ホチキス留めはせず、クリップ等を使用してください。

### 《全員必須》

| 書類の種類         | 注意点                                                   | 本学HPより取得が必要 | チェックリスト                  |
|---------------|-------------------------------------------------------|-------------|--------------------------|
| ① 志願票         | インターネット出願画面から出力・印刷の上、必ず封入してください。                      | /           | <input type="checkbox"/> |
| ② 志願者履歴書      | 本学ホームページより取得し、必要事項を入力の上、印刷して提出してください。※手書きでの作成は不可とします。 | ○           | <input type="checkbox"/> |
| ③ 成績証明書       | 最終学歴校の学校長等が作成し、 <b>厳封したもの</b> 。                       | /           | <input type="checkbox"/> |
| ④ 研究希望書(様式任意) | 大学院での研究計画等について入力し提出してください。                            | /           | <input type="checkbox"/> |

### 《学部卒業者のみ必須》

| 書類の種類       | 注意点                        | 本学HPより取得が必要 | チェックリスト                  |
|-------------|----------------------------|-------------|--------------------------|
| ⑤ 卒業(見込)証明書 | 出身大学等で作成し、 <b>厳封したもの</b> 。 | /           | <input type="checkbox"/> |

### 《修士課程修了者のみ必須》

| 書類の種類           | 注意点                        | 本学HPより取得が必要 | チェックリスト                  |
|-----------------|----------------------------|-------------|--------------------------|
| ⑥ 修士課程修了(見込)証明書 | 出身大学等で作成し、 <b>厳封したもの</b> 。 | /           | <input type="checkbox"/> |

### 《該当者のみ》

| 書類の種類                         | 注意点                                                                                                                             | 本学HPより取得が必要 | チェックリスト                  |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------|
| ⑦ 薬剤師免許証の写し                   | 薬剤師の国家資格を取得されている方は提出してください。                                                                                                     | /           | <input type="checkbox"/> |
| ⑧ 修士研究概要(様式任意)、研究業績一覧         | 公表論文・研究業績がある場合は、その写しおよび研究業績一覧(本学ホームページより取得し、入力)を添付してください。                                                                       | ○           | <input type="checkbox"/> |
| ⑨ 入学資格審査申請書                   | ※出願資格(8)(9)に該当する方のみ(P.3参照)<br>本学ホームページより取得し、入力し提出してください。                                                                        | ○           | <input type="checkbox"/> |
| ⑩ 受験承諾書                       | 出願時に在職中の方で、在職のまま入学を予定している場合には、勤務先所属長の「受験承諾書」を提出してください。<br>(所定用紙を本学ホームページからダウンロード・印刷)<br>合格後、退職する予定の方は、志願者履歴書の特記事項にその旨を記載してください。 | ○           | <input type="checkbox"/> |
| ⑪ 戸籍抄本                        | 婚姻等により、出願書類に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、提出してください。                                                                                    | /           | <input type="checkbox"/> |
| ⑫ パスポートおよび在留カードのカラーコピー        | ※日本国内に居住する外国籍の方のみ<br>以下をカラーコピーし、提出してください。<br>・パスポートの顔写真ページ(氏名、生年月日、パスポート番号等が記載されているページ)<br>・在留カードの両面(在留期間等および現住所が最新のもの)         | /           | <input type="checkbox"/> |
| ⑬ 留学生個人票                      | ※在留資格「留学」の方のみ<br>本学ホームページより取得し、必要事項を入力の上、印刷して提出してください。                                                                          | ○           | <input type="checkbox"/> |
| ⑭ 日本語能力試験結果                   | ※在留資格「留学」の方のみ<br>日本語能力試験(N2 112点以上 または N1 100点以上)合格を証明する合否結果通知書または証明書のコピーを提出してください。                                             | /           | <input type="checkbox"/> |
| ⑮ 在学中の日本国内教育機関の在学証明書または成績証明書等 | ※在留資格「留学」の方のみ<br>出願時に在籍している日本国内の教育機関が発行した <b>在学証明書</b> または <b>成績証明書</b> 等(出席率が確認できるもの)を提出してください。                                | /           | <input type="checkbox"/> |
| ⑯ 経費支弁書(本学所定用紙)               | ※在留資格「留学」の方のみ<br>本学ホームページより取得し、黒のボールペンで必要事項を記入してください。必ず記入例を参照し、記入ミスのないようにしてください。                                                | ○           | <input type="checkbox"/> |
| ⑰ 経費支弁能力証明関連書類                | ※在留資格「留学」の方のみ<br>経費支弁能力を証明する書類を提出してください。(本人または経費支弁者名義の残高証明書/年収証明書 等)                                                            | /           | <input type="checkbox"/> |
| ⑱ 外国語で作成されている書類の日本語訳          | 外国語で作成されている書類には、原本に加え、必ず公的機関が発行した公印付きの日本語訳を提出してください。                                                                            | /           | <input type="checkbox"/> |

※外国籍の方：外国籍を有する者

※在留資格「留学」の方：出願時点で在留資格「留学」を有する者、または2027年3月31日までに取得見込みの者

# 出願手続

## 1. 事前準備

### ● メールアドレスの準備

インターネット出願時にメールアドレスを登録していただきます。

登録したメールアドレスはマイページのログインIDとして使用し、また、出願完了や受験料納金完了をお知らせするメールを送りますので、普段から使用するメールアドレスを準備してください。

### ● 顔写真データの準備

顔写真は入学者選抜試験当日の本人確認用および入学後の学生証用として使用します。

一度登録された写真は変更できませんので、下記の「○良い例」を参考に、不備のないよう準備してください。

写真データのサイズは、100KB以上 5 MB以下となります。

※志願票に顔写真は表示されません。また、印刷した志願票に顔写真を貼付する必要はありません。



○良い例



×写りが不鮮明



×どちらかの目が隠れている



×顔の写りが大きすぎる



×アプリ等で顔を加工している

## 2. インターネット出願登録

### ● 個人情報・顔写真データ・出願情報の登録

以下のURLにアクセスし、インターネット出願システムより必要な情報を入力し、出願手続きを行ってください。

出願時の登録・入力ミスによる登録内容の変更は受け付けられませんので、ご注意ください。

※各試験区分において、出願期間最終日の出願登録は16:00までとなりますので、ご注意ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>

# インターネット出願の流れ 受験料支払いの利用手順

1

## ガイダンスサイトへアクセス

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>

2

## 入学者選抜種別の選択・受験者情報の入力

画面に従って必要な情報を入力してください。入力内容を間違えた場合は、始めからやり直してください。

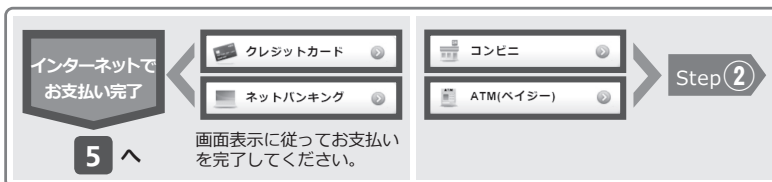
3

## 支払い方法の選択

(受験料の他に、一件につきサービス利用料がかかります。)

### Step ① 受験料の支払い方法を選択します。

「出願登録完了画面」あるいは「マイページの出願確認から表示される申し込み一覧画面」より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。



### ■クレジットカード

VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club

### ■ネットバンキング

主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。  
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

### Step ② お支払い情報を確認します。

コンビニエンスストア・ATMでの支払いに必要なお支払い情報を取得します。  
お支払い情報は、支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

- コンビニエンスストア  
コンビニエンスストア名を選択した後、「お支払い情報取得ボタン」を押してください。



### ■コンビニエンスストア



セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート

- ATM (ペイジー)

画面表示に従い、「お支払い情報取得ボタン」を押してください。



### ■ATM (Pay-easy利用可能なATM)

ゆうちょ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行など



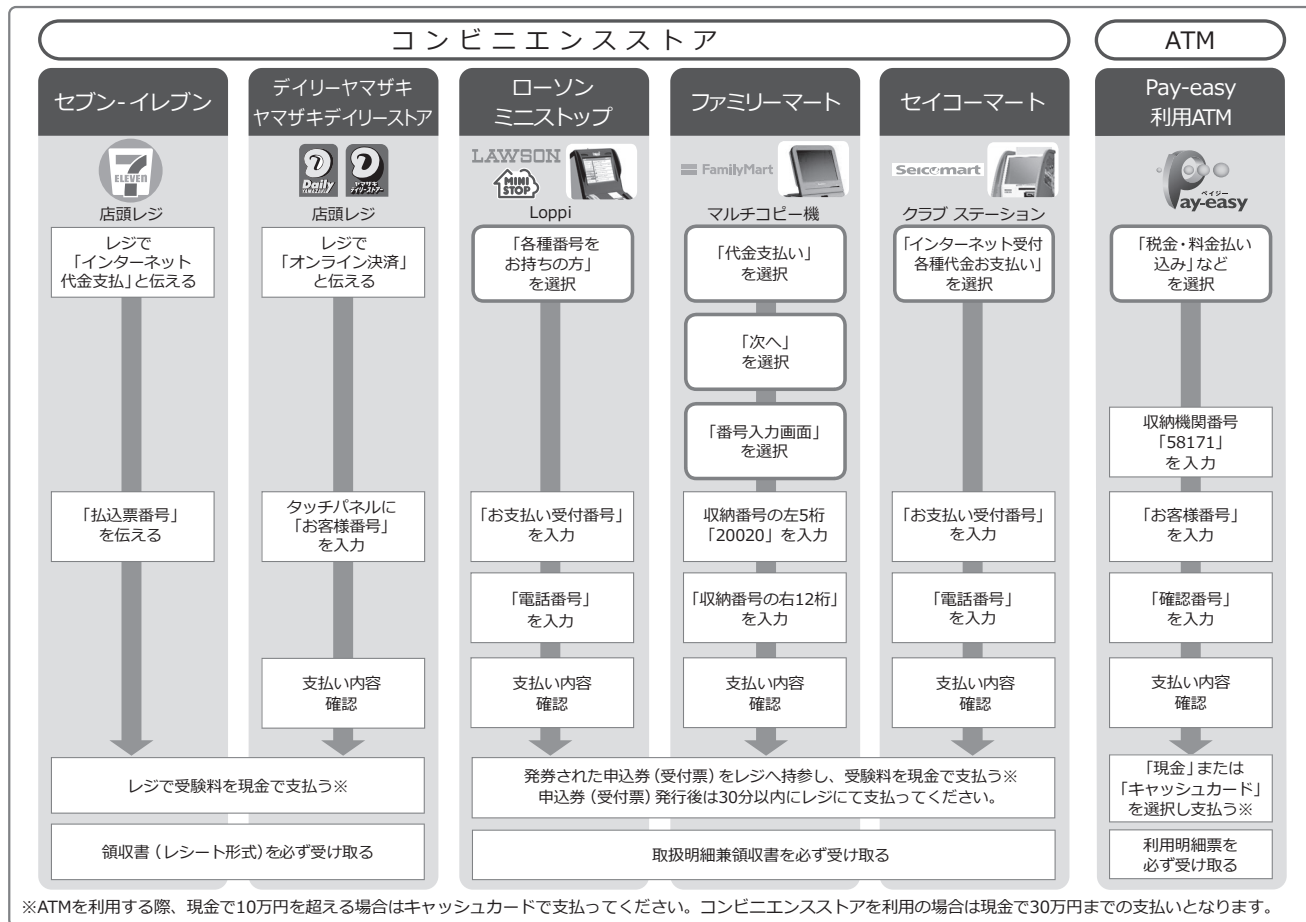
次頁へ

# 4

## 受験料の支払い

選択した支払い方法で受験料を支払います。

3のStep②で取得したお支払い情報を持参し、コンビニエンスストア（レジ、設置端末）・ATMにて受験料を支払います。  
領収書は必ず受け取ってください。



### サービス利用料について

※受験料のほかに、サービス利用料が必要です。登録時にご確認ください。  
※複数回登録する場合、サービス利用料がそれぞれ必要となります。

# 5

## 志願票・宛名ラベルの印刷

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>

受験料納入が確認でき次第、入金確認メールを送信します。

メールに記載のURLからガイダンスサイトにアクセスし、志願票・宛名ラベルを印刷し、  
市販の封筒（角形2号）に貼付けしてください。

（メールが届かない場合、上記URLからアクセスしてください。）

# 6

## 出願書類の提出

本要項P. 6 を参照し、必要な出願書類を確認してから入試課に提出してください。

出願書類は出願締切日必着です。

※今年度、本学への出願が2回目の場合、受験料の入金が完了した時点で出願完了となりますので、出願書類の再提出は不要です。

**出 願 完 了**

## 受験料支払い

### ① 受験料

今年度の入学者選抜を2回出願する場合、2回目は受験料が軽減されます。

| 研究科   | 受 験 料   |         |
|-------|---------|---------|
|       | 1 回目    | 2 回目    |
| 薬学研究科 | 35,000円 | 15,000円 |

※本学出身者は受験料が免除となりますので、手続方法について別途留意事項がございます。受験料を納付する前に必ず入試課に連絡してください。

### ② 受験料支払い方法（受験料は出願期間内に納付してください）

コンビニエンスストア・クレジットカード・ペイジー・ネットバンキングからの支払い

P.8～P.9「インターネット出願の流れ・受験料支払いの利用手順」参照

なお、納付された受験料は、理由のいかんにかかわらず返還できません。

## 出願書類提出方法

出願情報をインターネット上で登録し、受験料を納付したうえで、出願に必要な書類（P.6 参照）を出願期間内に郵送または直接来学にて提出してください。

### 【重要】

出願後は、試験日を含む出願内容の変更はできません。また、いかなる場合においても、出願後の書類および受験料の返還はいたしません。

必ず、出願資格から入学手続に至るまでの諸要件を十分にご確認・ご理解のうえで出願してください。

### ● 郵送による提出

出願書類は市販の角形2号封筒に入れ、インターネット出願システムのマイページからカラー印刷した「出願用宛名ラベル」を貼付のうえ、**簡易書留・速達郵便**で郵送してください。

※出願期間内必着です。**消印有効ではありません**のでご注意ください。

### ● 直接来学による提出

出願期間内に、出願書類を入試課へ持参してください

受付時間 平日 9:00～16:00 土曜日 9:00～12:00

※日曜、祝日の事務取扱いはいたしません。

また、9/26、2/13は入館不可となるためご注意ください。

出願書類提出場所（地図はP.15参照）

池袋キャンパス MiNoRiセントラル 入試課 〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4

※池袋キャンパス以外のキャンパスでは、出願受付は行っておりません。

## 受験票の確認

### ● 受験票の印刷

インターネット出願画面のマイページメニューの「オンライン受験票」より確認・印刷ができます。前日になっても受験票が確認できない場合は、入試課へ電話で照会してください。

#### ● 受験票に関するご注意

- ・記載内容に誤りがないか、必ずご確認ください（出願時の登録・入力ミスによる内容の変更はできません）。
- ・受験票には顔写真は表示されません。また、印刷した受験票に顔写真を貼付する必要もありません。
- ・受験票は試験当日に使用しますので、必ず持参してください。

# 受験上の注意

## ① 試験場

試験場は帝京平成大学池袋キャンパス MiNoRiセントラルです。

※インターネット出願時は「東京試験場」と表示されますが、薬学研究科（博士課程）の試験場は池袋キャンパス MiNoRiセントラルのみです。

## ② 集合時間

集合時間は9:00です。机上に貼付された受験番号ラベルを確認のうえ着席し、試験監督者・係員の指示に従ってください。

なお、試験場は8:00開場です（8:00以前は入館できません）。

9:15から受験上の注意について伝達し、9:30から試験を開始します。

遅刻時の最終入室時刻は9:50までとなります。それ以降の入室は一切認めません。

## ③ 持参品

### ① 受験票

受験票は、インターネット出願画面のマイページメニューにある「オンライン受験票」をご自身で印刷して持参してください。試験場入室後は、机上に提示してください。受験票を忘れた場合や紛失した場合は、試験当日に総合受付に申し出てください。

### ② 筆記用具（定規・コンパス・下敷き等の使用は認めません）

### ③ 時計（時計機能のみのもの）

- 辞書、電卓、通信端末等の機能を有するもの、またはそれらの機能の有無が判別しにくいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型の時計の使用は認めません。
- 携帯電話、スマートフォン等を時計として使用することはできません。携帯電話、スマートフォン等は必ず電源を切り、アラームを解除してかばんの中にしまってください。かばんは中身が見えないよう閉じ、椅子の下に置いてください。
- 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末等を机の上に置いたり、身につけていることが確認された場合は、不正行為とみなします。
- 当日、時計の貸し出しはできません。

## ④ 服装

服装については自由です。（例：スーツなど）

## ⑤ 試験中の注意

①途中退回は認めません。体調不良等、やむを得ない事情の場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。

②試験時間中に以下の不正行為または不正行為の疑いがあると判断された場合は、退室を命じ、失格となることがあります。

- (1) 監督者の指示に従わないこと。
- (2) カンニング（他の受験者の答案等を見ること、カンニングペーパーの使用等）をすること。
- (3) 使用を認められていない用具を使用して解答すること。
- (4) 電子辞書・携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類を使用（机上に置く等）、または身につけていること（面接控室等での待機時間を含む）。
- (5) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

上記の不正行為が認められた場合、それ以降の受験および当該年度における本学のすべての入学者選抜の受験を認めません。

なお、その際に受験料の返還は行いません。

## 合格発表

合格発表は、発表日（13:00～）から入学手續締切日（～23:59）まで、インターネットによる合否照会を実施します。  
合否照会の方法については、下記をご参照ください。本学への電話等によるお問い合わせには応じることはできません。  
また、操作ミス等によるトラブルについては、本学は一切責任を負いません。

### ● インターネットによる合否照会

以下のURLにアクセスし、インターネット出願システムのマイページ「合否結果」からご確認ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-thu/>（パソコン・スマートフォン共通）

### ● インターネットによる合否照会における結果表示について

合格の場合



不合格の場合



※画面は開発中のものであり、実際の操作画面と異なる可能性がありますので、ご了承ください。

# 入学手続

## 入学手続方法

入学手続は、インターネット出願システムのマイページ「入学手続き」にアクセスし、「納付金の納付」と「入学手続時情報の入力・手続書類の送付」を必ず行ってください。

入学手続締切日までに手続を行わない場合は、入学を許可しません。

1. 合格された方は「入学手続き」内、「入学手続の手引き」、「入学手続ガイダンスページ」で手続方法をよく確認のうえ、間違いのないようにしてください。
2. 入学手続締切日までに上記手続が完了していない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。
3. 納付金の納付は半期分納付と年額納付が選択できます。
4. 提出する入学手続書類は、入学手続締切日当日の消印有効とします。ただし、**卒業証明書は必着です**。
5. 納付した納付金のうち入学金、および提出した書類は入学手続完了の有無にかかわらず返還しません。

### 入学手続 ※入学手続締切日（P.4 参照）まで

- (1) 「入学手続き」にアクセスして、「入学手続時情報入力」に必要な項目を入力してください。
- (2) 「振込依頼書」をダウンロードして納付してください。金融機関領収印は締切日当日まで有効とします。

### 入学後情報の入力 ※2027年3月31日（水）まで

「入学手続き」にアクセスして、「入学後情報入力」に原則、全ての項目を入力してください。

# 納付金

・学内出身者は入学金を免除します。

・教科書等については、別途費用がかかります。（単位：円）

| 区 分     | 入学金     | 授業料                  | 施設設備整備費              | 学生傷害保険料 | 合計(入学手続時)              |
|---------|---------|----------------------|----------------------|---------|------------------------|
|         | 入学時のみ   | 半期分<br>(年額)          | 半期分<br>(年額)          | 入学時のみ   | 半期分納付の場合<br>(年額納付の場合)  |
| 博 士 課 程 | 200,000 | 380,000<br>(760,000) | 100,000<br>(200,000) | 3,300   | 683,300<br>(1,163,300) |

## 長期履修学生制度

社会人入学者を対象に、通常4年間で修了する課程を5年間で計画的に履修する制度です。

授業料は4年分を概ね5等分して納付いただきます。

なお、施設設備整備費は5年分納付いただきます。

※申請は出願時のみ受け付けます。入学後の変更はできません。

|         |         |                      |                      |       |                        |
|---------|---------|----------------------|----------------------|-------|------------------------|
| 博 士 課 程 | 200,000 | 304,000<br>(608,000) | 100,000<br>(200,000) | 4,050 | 608,050<br>(1,012,050) |
|---------|---------|----------------------|----------------------|-------|------------------------|

※2年次～5年次納付金(年額)：808,000円（授業料：608,000円、施設設備整備費：200,000円）

|         |                                                                                                                                                                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 提携教育ローン | 本学では、株式会社ジャックスの提携教育ローン制度を導入しております。<br>(照会先)・株式会社ジャックス コンシューマードesk TEL.0120-338-817<br>・本学ホームページ ( <a href="https://www.thu.ac.jp/exam/expenses/loan">https://www.thu.ac.jp/exam/expenses/loan</a> ) |
| 国の教育ローン | 株式会社日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター TEL.0570-008656 <a href="https://www.jfc.go.jp/">https://www.jfc.go.jp/</a>                                                                                               |

## ● 入学許可の取消しについて

本学の合格通知を受けた方であっても、入学手続き完了の有無にかかわらず、以下のいずれかに該当する事由（事実）が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

1. 出願書類や提出書類等に虚偽の記載、重大な事実の隠蔽、その他の不正行為があった場合
2. 入学者選抜試験において、不正行為（カンニング等）があった場合
3. 2027年3月31日までに、本学が定める入学資格を満たしていることが確認できない場合（卒業証明書等の未提出、在留資格「留学」の取得が確認できない場合等）
4. 入学前において、法令に違反する行為、社会秩序を著しく乱す行為、または本学の名誉もしくは信用を損なう行為があった際に、その事実について処分・結果が未だなされていない場合
5. その他、本学の学生として不適当と認められる重大な事由がある場合

※上記事由により入学許可が取り消された場合、すでに納付された入学金および学費等は返還しません。

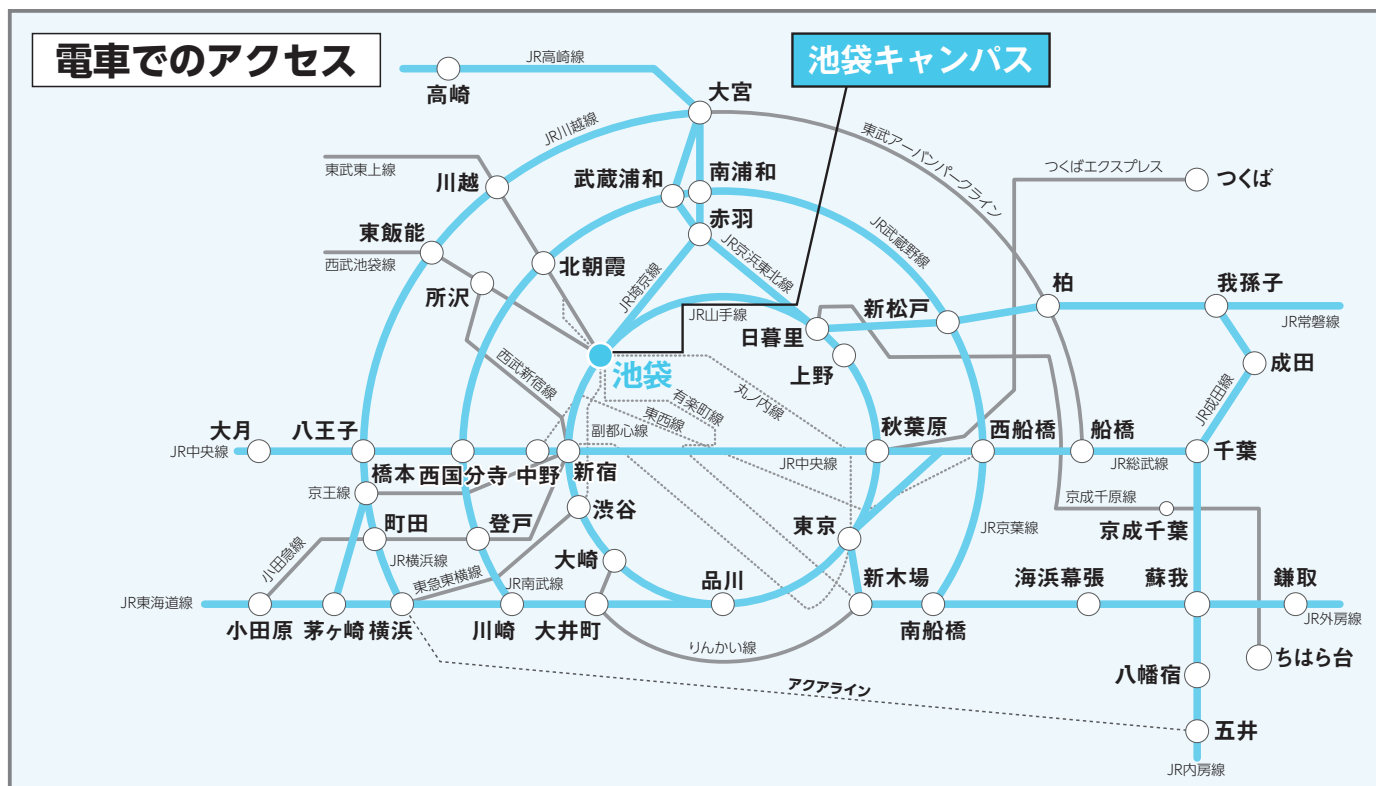
## ● 入学辞退手続

入学手続後に入学を辞退する方は、**2027年3月31日（水）16:00までに**入学手続ページ内の「入学辞退手続」ボタンから、入学辞退の申請手続を行ってください。手続完了後、入学金を除いた納付金の返還を受けることができます。

- ・入学辞退申請後の入学辞退の取消はできません。
- ・上記期限までに申し出のない場合、納付金は一切返還しません。
- ・納付金の返還は、申請日の翌月末に行います。

## 試験場案内図

事前の試験場の下見は、交通機関・道順・所要時間・試験場の位置を調べるにとどめてください。  
試験場への立ち入りはできません。



## 薬学研究科

## 博士課程 薬学専攻

## ● 授業科目の概要

| 科目区分       | 授業科目の名称          | 講義等の内容                                                                                                                                  |
|------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医療実践研究分野   | ヘルスプロモーション特講     | 生活者が健康で豊かな人生を送るために臨床薬剤師が支援するための環境・健康政策の立案の基本的事項の理解、さらに人の健康に関わる行動(健康行動)の理解、及び健康行動のためのカウンセリング理論を修得する。                                     |
|            | 実務薬学特講           | 医療の担い手としての使命・責務を理解したうえで薬剤師の現状を学び、薬剤師の役割とあるべき姿を考察し、社会のニーズに応える医療における課題の発見と課題解決の方策について実例を通して考える。                                           |
|            | 地域医療薬学特講         | 地域医療薬学における基本的理念を学び、少子高齢化の中で多様化している地域社会や医療の現状と課題を抽出する。あわせて医療・介護・福祉・保健を担う専門分野と連携をしながら、課題解決に向けた取り組みを検討、実践していくことを目的とする。                     |
|            | メディカルライティングスキル特講 | 研究活動や医療現場では、根拠に基づく論理的な思考や明確な表現力が求められる。本講義では、医学・薬学・生命科学分野における論文や報告書の作成に必要なライティング技術を体系的に学び、実践的な演習を通じて専門的な表現や論理構成、読者に伝わる文章の工夫等を修得する。       |
|            | 臨床薬理学特講          | 近年、これまでにないタンパク質を標的とする有機小分子化合物や抗体医薬品が、選択性が高く副作用の少ない新規薬物として承認されている。本講では、これらの新規作用機序を持つ薬物について、その薬物設計理念を生理学・病態生理学の観点から理解することを目的とする。          |
|            | 臨床薬剤学特講          | 薬学的知識を臨床で活用するためのノウハウを習得するとともに、薬物動態学的な専門的技能の基礎を学ぶことを目標とする。具体的には、薬物血中濃度の測定方法、解析方法、臨床で得られるデータを用いた研究手法等について事例に基づき取り組む。                      |
|            | 疾病と薬物治療特講        | 効果的な薬物治療は、病態を理論的に把握して薬剤を適切に選択する必要がある。一方で医薬品の開発費削減のため、新しい創薬戦略が求められている。本講義では、免疫・アレルギー疾患を中心に薬物治療に関する病態学的メカニズム及び新規診断・治療法開発にアプローチする研究について学ぶ。 |
|            | プレゼンテーション論特講     | プレゼンテーションは1対複数へのコミュニケーションである。本講義では、聴衆分析から効果的な口頭表現、資料作成を実践的に学ぶ。                                                                          |
|            | リサーチスキル特講        | リサーチ能力を高めるために重要なスキルとして、情報を収集する手法と視点について学修する。また、コロキウムによるディスカッション、さらに実際の研究データを用いた分析トレーニングを行う。                                             |
| 創薬・橋渡し研究分野 | 伝統医薬学特講          | 我が国の伝統医薬学である日本漢方が独自に発展した背景には、中国の影響以外にも、風土や仏教などの文化的な要因やオランダ医学などの影響がある。本講義では広い視野から日本漢方について理解し、その身体観や処方理論を明らかにすることを目指す。                    |
|            | 先端生命科学特講         | 創薬研究に関する情報入手に必要な先端科学論文の読解力やプレゼンテーションの方法・技術を養う。主に、動脈硬化・糖尿病・高血圧といった脂質代謝に関わる疾病の病態生化学、細胞生物学、分子生物学、免疫学を主題とする。                                |
|            | 分子生物薬学特講         | 遺伝子やゲノムの動きと疾病との関わりについて、遺伝性疾患、腫瘍遺伝学、バイオインフォーマティクスなどを取り上げ、ゲノム医療への応用をはじめ、今後の可能性や問題点について講義し、討論の機会も設ける。                                      |
|            | 細胞生化学特講          | 細胞の主要構成成分である脂質とタンパク質に焦点を当て、細胞内での代謝やその代謝物の生理的・病理的機能を理解することによって、薬剤師や医薬品開発者にとって必要な細胞生化学の知識を修得し、臨床現場や薬学研究に応用する基盤を構築することを目指す。                |
|            | ドラッグターゲティング学特講   | ドラッグターゲティングは薬物治療の最適化を担う投与の方法論として広く実用化されている。DDSの基礎的技術および具体例を学び、さらに、新しいドラッグターゲティング技術を、具体的な医薬品開発に応用できる能力を涵養する。                             |
|            | RNAの分子生物学特講      | 全RNAの約98%はタンパク質をコードしないncRNAである。これらのRNAを特定遺伝子の発現阻害・調節に利用するRNA医薬は、抗体医薬に続くバイオ医薬として注目されている。ncRNAの発見の経緯から核酸医薬への応用までを講義する。                    |
|            | 生活習慣病の生化学特講      | 高齢化社会における課題のひとつである生活習慣病を主軸として、基礎研究と医療が密接に結びついた事例について調査し、医療の発展に対する物理・化学・生物などの基礎研究の重要性を学ぶ。                                                |
| 創薬・橋渡し研究分野 | 薬学英語特講           | 薬学・医療英語の基礎から応用までを扱い、専門文献や臨床データを英語で正確に読み解く力を養う。抄読・要約・ピアレビュー演習に加え、外国人患者への臨床説明の練習を行い、国際学会発表・質疑応答と論文作成に必要な表現力の修得を目指す。                       |

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

入学  
者  
選  
抜  
概  
要出  
願  
手  
続合  
格  
発  
表  
・  
入  
学  
手  
続試  
験  
場  
の  
案  
内研  
究  
指  
導  
内  
容

Q

&amp;

A

# 薬学研究科

## 博士課程 薬学専攻

### ● 授業科目の概要

| 科目区分       | 授業科目の名称      | 講義等の内容                                                                                                                                      |
|------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 創薬・橋渡し研究分野 | 新製剤設計学特講     | 多様な薬物の有効性、安全性を確保しつつ治療に用いるには、各々に適した剤形が必要である。最近の医薬品を例にとり、製剤設計・処方設計に不可欠な物理薬理学、製剤工学などの体系化された知識と能力を修得する。                                         |
|            | 応用タンパク質工学特講  | 凝固因子や抗体などの遺伝子組換えタンパク質が医薬品として使用されている。これら遺伝子組換えタンパク質生産の基礎的技術および応用例をもとに、薬剤師や医薬品開発者に必要なタンパク質工学の知識を深める。                                          |
|            | 病態解析学特講      | 慢性頭痛に関する基礎から専門知識までを体系的に学び、実践的なスキルを習得する。初級編では全員が共通の基礎知識を持ち、中級編では病態や患者判別の理解を深め、上級編では最新研究や症例を通じてさらに理解を深める。最終段階では、ケーススタディを通じて臨床で役立つスキルや患者支援を学ぶ。 |
|            | 分子薬理学特講      | 近年、新たなイオンチャネルや受容体サブタイプが発見されている。薬物の薬理作用、作用機序及び副作用などを把握し、最善の薬物治療を提案できる能力の醸成を目標に、薬物の作用点である受容体、イオンチャネル、シグナル伝達系などを分子レベルで理解する。                    |
|            | 統合生理学特講      | 個体レベルで発現する多くの生理機能は複数の臓器が関与しており、特定の臓器だけに注目しても理解は進まない。本講義では、臓器、組織、細胞などをダイナミックシステムとしてとらえ、統合的に生理機能について学習する。                                     |
|            | 微生物学・感染症学特講  | 感染症は人類の生命・健康に対する脅威である。感染症を制御するために必要な微生物に関する知識を修得すると共に、病原微生物に対する生体防御システム及び感染症治療法について理解する。また、医薬品の新規開発、適正な使用法についても学ぶ。                          |
|            | 生命情報伝達学特講    | 細胞内情報伝達機構の研究は病態の解明や治療薬開発に大きく貢献している。本講義では基本的な細胞内情報伝達機構について概説し、さらに病態、治療薬などに関連する最新の論文の抄読、討論を通じて分子レベルで理解、思考する力を身に付けることを目指す。                     |
|            | ケミカルバイオロジー特講 | 化学的な手法を用いることによって生命現象を解明する研究分野であるケミカルバイオロジーの基礎知識を修得し、有機化学の見地から生命活動や生理活性化合物の作用を分子レベルで理解する考え方を身につけることを目指して講義する。                                |
|            | 蛋白質構造生物学特講   | 細胞内恒常性の維持を担う「ユビキチン-プロテアソームシステム」と「オートファジー」について、最新の生化学・構造生物学的知見を踏まえ、その分子機構、生理機能、および疾患との関連を体系的に講述する。                                           |
|            | 抗体医薬品研究開発学特講 | 近年の抗体医薬の進展はめざましいが、実用化には多くのノウハウが求められる。安全性審査も厳しく、審査・承認過程では生物製剤特有の部分も多い。抗体の研究開発に係る全ての業務に、すぐにも役立つ内容を網羅し講義する。                                    |
|            | 医療倫理学特講      | 薬剤師のみならず、医療従事者がかかわるであろう医療倫理問題に関して、事例をもとにディスカッションを通して深く考える。また、人を対象とする研究を遂行する上での倫理的配慮について実践的な検討を通して学ぶ。                                        |
|            | 薬理動態安全性科学特講  | 薬物毒性学の高度な知識を修得し、医薬品安全性の諸問題を科学的に解決するための研究遂行能力の醸成を目標とする。そのため、薬物の体内動態、オルガネラ障害、免疫応答等に関連した薬物有害反応の機序、予測、評価について学ぶ。                                 |
|            | 応用環境薬学特講     | 医薬品をはじめとする化学物質や、ヒトの健康と環境に対して直接的、間接的に悪影響を与える食品や環境汚染物質などについて、その現状と対策に関する基礎知識・情報を取得し、多様な領域における問題解決能力を養成する。                                     |
|            | 環境科学特講       | 近年、人類が地球環境を破壊してきた結果として、様々な環境問題が発生している。本講義では、これらの環境問題の発生メカニズムを学修し、その対応策を考える。                                                                 |
|            | ゲノム情報学特講     | ゲノム情報は今日の生物科学の基盤となっているのみならず、医薬の分野においても創薬(ゲノム創薬)や医療(ゲノム医療)に活用されている。ゲノム情報に基づいた創薬や医療を理解するための基本的知識を講義する。                                        |

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

## 薬学研究科

## 博士課程 薬学専攻

## ● 授業科目の概要

| 科目区分        | 授業科目の名称      | 講義等の内容                                                                                                                                                          |
|-------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医薬評価・規制研究分野 | 薬事・薬害史特講     | 国内外で発生した薬害とそれに起因する薬事規制の変遷や医薬品の安全対策に関する制度について学び、医薬品業務に従事する者の心構えと制度について理解する。                                                                                      |
|             | 医薬品開発戦略学特講   | 医薬品開発の流れが理解できるように、医薬品開発戦略に関する基礎知識のほか、創薬シーズの発見、疾患ターゲットとリード化合物の選定、ドラッグデザインなどについての知識を身につけることを目的として講義する。                                                            |
|             | 実践医療統計学特講    | 医療統計学についての知識及び、統計解析技能の習得を目標とする。実際のデータを使つての前処理や、医療データの性質に基づく適切な検定方法の選定が出来るようになる。そして正しいデータ解析が実践できるための知識並びに技能を学ぶ。                                                  |
|             | 医薬品開発・評価学特講  | クリニカルウェッション解決のために、最適な研究デザインを設計するとともに、研究実施計画書の作成や研究遂行のために必要な統計的技能(サンプルサイズ設計、データ解析)、また倫理的配慮の方法等を修得することを目的とする。                                                     |
|             | 創薬科学特講       | 疾患関連タンパク質と相互作用して治療効果を示し、安全性に優れた化学物質を設計・探索し、医薬品として開発するために必要な方法論と、創薬研究者として必要な最新の創薬関連の知識修得を目的として基礎事項と実例を学ぶ。                                                        |
|             | 医療製剤学特講      | 薬剤師が医薬品の製剤学的特性について詳細に把握することは薬剤適正使用の観点から非常に重要である。本講では様々な剤型の製剤特性について最近の話題なども交えながら解説する。そしてこのような情報を得るための手法について理解することを目標とする。                                         |
|             | 化学物質リスク評価学特講 | 本科目では、我が国及び諸外国における化学物質の管理等に係る法規及び制度の理解を目標とする。さらに、化学物質の有害性及び曝露量の評価手法並びに科学的手法による健康リスク評価手法に関する知識及び技能の修得を目標とする。                                                     |
|             | 知的財産管理学特講    | 医薬品開発に最低限必要な特許出願の基礎に加えて、知的財産管理及び導出入、他社特許の調査と訴訟等の実務について学ぶ。あわせて実用新案権、著作権、商標権等の基礎について学ぶ。                                                                           |
|             | 医薬品情報学特講     | 本講では、文献や臨床データを評価し、情報を整理・提供する方法を学ぶ。安全性と有効性を踏まえた適正使用を支える知識と実践力を修得し、参考として現在急速に発展する生成AIの情報整理や要約への活用にも触れる。                                                           |
|             | 医療安全学特講      | 医薬品の安全性情報をもとに、臨床における問題点、リスクの評価方法、具体的な安全対策について学び、薬剤師としての実践的な医療安全学の修得を目指す。                                                                                        |
|             | 薬剤疫学・医薬経済学特講 | 疫学手法を用いて医薬品の副作用等のリスクを研究／評価すること、副作用を臨床および社会の視点から評価する際の考え方を学ぶ。また、医薬品や薬剤師・薬局の活動を経済的な視点から研究／評価する方法を学ぶ。研究はデータサイエンスの応用が主流となっており、国内外の研究事例をとらえて研究立案から社会への応用のための広い視野を培う。 |
|             | 医薬安全科学特講     | 医薬品においては有効性のみならず安全性の確保が極めて重要である。医薬品開発から承認後の過程でどのように安全性が評価、確保されていくのかを体系的に学び、企業・行政・医療機関の役割を理解する。討論を通じて実践的な視点も養う。                                                  |
| 共通          | 薬学特別研究       | 医療実践、創薬橋渡し、評価・規制研究分野のいずれかに所属し、担当教員の指導のもと、研究テーマについて研究を実践し、博士論文にまとめる。作成した博士論文については、課程博士学位審査要項に従って審査を受け、合格したとき博士学位を取得できる。                                          |

● 授業科目名等は変更になる場合があります。

入学  
者  
選  
抜  
概  
要出  
願  
手  
続合  
格  
発  
表  
・  
入  
学  
手  
続試  
験  
場  
の  
案  
内研  
究  
指  
導  
内  
容

Q

&amp;

A

# 薬学研究科

## 博士課程 薬学専攻

### ●教育研究および担当教員

| コース         | 研究指導分野                   | 研究指導内容                                                                      | 担当教員                       |
|-------------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 医療実践履修コース   | 社会薬学、医療薬学、薬学教育           | 薬物療法への効果的な関わり方に関する研究、薬物療法の経済性に関する研究                                         | 教授 博士(薬学) 亀井 美和子           |
|             | 医療安全学                    | 医療事故の要因解析と防止策に関する研究<br>高齢者の薬物療法の問題点と改善策に関する研究                               | 教授 博士(薬学) 清野 敏一            |
|             | 臨床栄養、薬剤                  | 入院患者の栄養状況改善における薬剤師の役割                                                       | 教授 博士(薬学)<br>博士(教育) 井手口 直子 |
|             | 社会薬学                     | 地域・生活者の健康課題に対する薬学的支援と社会実装に関する研究                                             | 教授 博士(薬学) 小原 道子            |
|             | 医療薬学、薬学教育                | 健康食品の安全性に関する検討、シミュレータを用いた教育法の開発                                             | 教授 博士(薬学) 丸山 桂司            |
|             | 医療薬学                     | 慢性頭痛の病態解明と薬剤師の頭痛患者対応に関する研究                                                  | 教授 博士(薬学) 石井 正和            |
|             | 医療薬学                     | 植物培養細胞を用いた医薬品開発における評価モデル作成に関する検討、嚔下困難患者に対するゼリー剤を用いた服薬方法の検討                  | 教授 博士(薬学) 島崎 学             |
|             | 薬学教育、学修支援、初年次教育          | 薬学における興味関心と学修を促す調査研究                                                        | 教授 博士(医学) 畑 春実             |
|             | 医療薬学関連                   | PHR(personal health record)アプリを用いた患者のHealth literacyとSelf efficacyの向上に関する研究 | 准教授 博士(薬学) 半田 智子           |
|             | 生体分析                     | 高感度分析法を基盤とする新規検査・診断法の開発に関する研究                                               | 准教授 博士(薬学) 大野 賢一           |
|             | 科学社会学および科学技術史関連          | 古文書の解析にもとづく伝統医薬学の研究                                                         | 准教授 博士(薬学) 鈴木 達彦           |
|             | 医療薬学                     | 医薬品による副作用発現機構の解析と副作用の予防・治療法の確立                                              | 准教授 博士(医学) 雨宮 貴洋           |
| 創薬・橋渡し履修コース | 医療薬剤学                    | 服薬アドヒアランス向上を目指した臨床的機能性を有する製剤の開発                                             | 教授 博士(薬学) 並木 徳之            |
|             | 天然物合成 医薬品化学 反応開発         | 新しい炭素-炭素結合生成反応の開発研究、有用生理活性物質の合成研究                                           | 教授 博士(薬学) 小松 俊哉            |
|             | 生体関連化学                   | 天然物化学、免疫学                                                                   | 教授 博士(薬学) 名取 威徳            |
|             | 分子薬理学                    | 活性酸素感受性チャネル活性化を介した炎症性疾患の増悪に関する研究                                            | 教授 博士(薬学) 清水 俊一            |
|             | 生化学・分子生物学                | 新規抗腫瘍薬のビフィズス菌DDSの改良                                                         | 教授 薬学博士 斎藤 浩美              |
|             | 天然物化学、天然活性物質、薬用資源、微生物薬品学 | 抗老化を目指した漢方薬及び天然由来物質の評価                                                      | 教授 薬学博士 高松 智               |
|             | 有機化学、医薬品化学、医薬分子設計、医薬品探索  | 生理活性をもつ新規誘導体の合成および構造活性相関の解明                                                 | 教授 博士(薬学) 栗原 健一            |
|             | 分子生物学                    | 昆虫とその共生微生物の共生成立機構の解明                                                        | 教授 博士(薬学) 小林 秀昭            |

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

## 薬学研究科

## 博士課程 薬学専攻

## ●教育研究および担当教員

| コース             | 研究指導分野                           | 研究指導内容                                              | 担当教員              |
|-----------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------|
| 創薬・橋渡し<br>履修コース | 薬系衛生および生物化学関連                    | 脂質性生理活性物質の産生機構に関する研究                                | 教授 博士(薬学) 中谷良人    |
|                 | 細胞生化学                            | M1アミノペプチダーゼの基質認識機構に関する研究                            | 教授 博士(地球環境科学) 大西敦 |
|                 | 細胞生物学関連<br>タンパク質分解               | ユビキチン・プロテアソームシステムを介した細胞機能制御機構の解明                    | 教授 博士(理学) 八代田英樹   |
|                 | 薬物送達システム、腫瘍学                     | 遺伝子組換えビフィズス菌をDDS担体として用いた抗腫瘍薬の開発                     | 教授 博士(薬学) 平裕一郎    |
|                 | 有機合成化学、反応開発、選択的合成                | 新規核酸アナログの合成に基づく有用生理活性化合物の探索                         | 教授 博士(薬学) 熊本浩樹    |
|                 | 薬系衛生、生物化学、環境衛生、毒性学               | ナノマテリアルとナノ粒子の安全性評価、及びナノマテリアルと医薬品・化学物質の相互作用の解析       | 教授 博士(薬学) 磯田勝広    |
|                 | 医療薬学、分子生物学                       | 生体内抗酸化物質による紫外線予防に関する研究                              | 教授 博士(薬学) 渡辺達也    |
|                 | 薬理学、薬物治療学                        | ドラッグリポジショニングによる既存化合物およびその誘導体の抗糖尿病作用評価、漢方有効性の検証方法の確立 | 准教授 博士(薬学) 高崎浩太郎  |
|                 | 生体分子化学、機能生物化学、細胞生物学、生体情報内科学      | 細胞外小胞の性状・機能解析<br>動脈硬化の発症・進展における分子機構の解明              | 准教授 博士(薬学) 池本守    |
|                 | 薬系衛生および生物化学関連                    | 細胞外分泌小胞の構造と機能に関する研究                                 | 准教授 博士(薬学) 小川裕子   |
|                 | 腫瘍学、薬物送達システム                     | 組換えビフィズス菌の培養法と精製法の開発、および抗腫瘍効果の検討                    | 准教授 博士(薬学) 平郁子    |
|                 | 免疫学、細胞生物学、分子生物学                  | 細胞死誘導性アゴニスト抗体とDDSの組み合わせによる抗腫瘍薬の開発                   | 准教授 博士(薬学) 西川毅    |
|                 | シグナル伝達、細胞周期、細胞骨格                 | 光刺激による細胞骨格の操作手法の開発                                  | 准教授 博士(理学) 吉田卓史   |
|                 | 薬物動態学、毒性学、オミクス、消化器内科学、生化学、生命情報科学 | ミトコンドリアを基軸とした肝疾患および薬物毒性の分子病態機序に関する研究                | 准教授 博士(医薬学) 濱田和真  |
|                 | 健康科学、生活習慣病                       | 生活習慣と薬物治療の相互作用に関する研究                                | 准教授 博士(健康科学) 山元健太 |
|                 | 病態医化学、生物系薬学、機能生物化学               | 免疫および高次機能におけるタンパク質分解酵素の機能に関する研究                     | 准教授 博士(農学) 後藤芳邦   |
|                 | アレルギー学、薬物治療学                     | IgEの架橋活性を指標とする機能的アレルギー評価に関する研究                      | 准教授 博士(薬学) 秋山晴代   |
|                 | 医療薬学、薬系衛生                        | 多剤耐性菌の抗菌薬感受性を高める抗菌補助剤の開発                            | 准教授 博士(薬学) 大野まき   |

●担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

入学  
者選  
抜概  
要出  
願  
手  
続合  
格  
発  
表  
・  
入  
学  
手  
続試  
験  
場  
の  
案  
内研  
究  
指  
導  
内  
容

Q

&amp;

A

# 薬学研究科

## 博士課程 薬学専攻

### ● 教育研究および担当教員

| コース              | 研究指導分野                   | 研究指導内容                          | 担当教員              |
|------------------|--------------------------|---------------------------------|-------------------|
| 創薬・橋渡し<br>履修コース  | 行動薬理、神経薬理                | 中枢神経疾患モデル動物を用いた治療薬候補の探索         | 准教授 博士(薬学) 窪田 剛志  |
|                  | 分子生物学関連、機能生物化学関連、細胞生物学関連 | 生体分子の生理的・病態生理学的役割の解明            | 准教授 博士(工学) 山本 伸一郎 |
| 医薬評価・規制<br>履修コース | 医療薬学、レギュラトリーサイエンス        | 小児および希少疾病領域等における医薬品の安全性向上に資する研究 | 教授 医学博士 宮崎 生子     |
|                  | 分析化学、生体医工学               | 消費者製品含有化学物質の健康リスク評価等に関する研究      | 教授 博士(薬学) 伊佐間 和郎  |
|                  | 社会薬学、医療情報学、レギュラトリーサイエンス  | 医薬品の適正使用を支える情報・制度等に関する研究        | 教授 博士(医薬学) 渡邊 伸一  |
|                  | 医薬品情報学、医療管理学、データサイエンス    | データサイエンスに基づいた臨床医学研究の開発          | 教授 博士(薬学) 濃沼 政美   |
|                  | 医療薬剤学                    | 皮膚外用製剤混合物の基剤安定性や主成分均一性に関する研究    | 教授 博士(薬学) 山本 佳久   |
|                  | 医療薬学                     | スペシャルポピュレーションにおける医薬品適正使用に関する研究  | 准教授 博士(薬学) 佐村 優   |

● 担当教員、研究指導内容等は変更になる場合があります。

## Q &amp; A

## 帝京平成大学大学院 薬学研究科【博士課程】

## 出願資格について

Q：特別に国家資格を持っていませんが、大学院に入学して各専門分野の知識や技術を身につけたいと思っています。入学は可能でしょうか？

A：出願資格を満たしていれば、出願可能です。ただし、研究テーマによっては、薬剤師免許が必要な場合がありますので、事前に入試課へご相談ください。そのうえで、入学者選抜に合格すれば入学できます。

## 単位認定について

Q：大学院中退ですが、以前通学していた大学院での修得単位は認定されますか？

A：修得内容を確認のうえ、認定の可否を判断します。

Q：科目等履修生で、既に修得した単位は認定されますか？

A：修得内容を確認のうえ、認定の可否を判断します。

## 研究テーマ・担当教員について

Q：研究テーマ・担当教員はどのように決めるのですか？

A：出願前に担当希望教員と事前面談を行います。正式な担当教員は入学者選抜試験合格後に決定し、入学後に担当教員と協議して研究テーマを決めます。

## 研究環境について

Q：研究室、実習室等の研究環境について教えてください。

A：中野キャンパスには、薬学研究科薬学専攻の実験施設が数多く設置されています。

Q：図書館ではどのようなサービスを提供していますか？図書館の開館曜日・時間帯はどのようになっていますか？

A：図書館では、図書の貸出・予約・購入希望申込受付・文献複写・情報端末の利用・コピー等のサービスを提供しています。図書の貸出冊数は5冊まで、期間は28日間です（長期休暇時は長期貸出を行います）。開館時間は、平日8:45～21:30、土曜日8:45～17:00です（長期休暇時は時間変更の場合があります）。日曜・祝祭日・年末年始などは休館です。

## 出願書類の受付について

Q：出願書類の窓口受付はしていますか？

A：受験料の支払いを済ませてから、出願書類を池袋キャンパス入試課へ出願期間内に持参してください。

受付時間 平日9:00～16:00 土曜日9:00～12:00

日曜、祝日の事務取扱いはいたしません。

また、9/26、2/13は入館不可となるためご注意ください。

**池袋キャンパス MiNoRiセントラル 入試課**以外では、窓口受付はしていません。

## 入学選考関係について

Q：出願書類に不備があった場合は、どうなりますか？

A：出願書類に不備がある場合は受理できませんので、ご注意ください。

Q：合否判定の基準はありますか？

A：筆記試験・面接・書類審査で総合的に判定します。

Q：合格発表はどのような方法で行われますか？

A：合格発表日（13:00～）から入学手続締切日（～23:59）まで、インターネットによる合否照会を実施します。

なお、合否照会の方法については、P.12をご覧ください。

## その他

Q：通学にあたり、学生向けの駐車場・駐輪場はありますか？

A：駐車場はありません。

駐輪場はありますが、利用する場合は、入学後に申請が必要です。

Q：就職活動の支援を受けられますか？

A：就職支援室にて、履歴書添削や面接練習をはじめ、個別相談などの支援を受けることができます。

また、求人検索などができる本学独自の就職支援サイト「帝京平成大学キャリアナビ」の利用が可能です。





# TEIKYO

## 帝京平成大学 入試課

HP <https://www.thu.ac.jp>

お問い合わせ

入試相談 ☎ 0120-918-392

TEL.03-5843-3200 FAX.03-5843-3210

池袋キャンパス 〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4

中野キャンパス 〒164-8530 東京都中野区中野4-21-2

千葉キャンパス<sup>※1</sup> 〒290-0193 千葉県市原市うるいど南4-1  
(2026年度)

千葉キャンパス<sup>※2</sup> 〒290-0192 千葉県市原市ちはら台西6-19  
(2027年度以降)

※1 2027年4月より「千葉スポーツキャンパス」へ名称変更予定です。

※2 2026年度以前の名称は「ちはら台キャンパス」です。